

ロシア 東欧 経済速報

社団法人 ロシア東欧貿易会 〒104-0033 東京都中央区新川1-2-12 金山ビル Tel.(03)3551-6218
ロシア東欧経済研究所 <http://www.rotobo.or.jp> [年間購読料・送料共前納 18,000円]

1998年(平成10年)8月15日 No.1099

目次

ロシア電力業界の現状②.....	坂口 泉 1
「環太平洋消費物資展－98」のご案内.....	11
CIS諸国通貨の最新為替レート.....	11

ロシア電力業界の現状② －ロシア統一電力システムについて－

周知のとおり、ロシアには「ロシア統一電力システム（以下UESと称する）」という巨大電力会社が存在し、ロシア電力業界の代名詞的存在となっている。今回は、UESおよびその傘下の主要な地域電力会社について紹介することとする。

1. 設立の経緯・組織形態

UESは、1992年に、旧ソ連電力省およびロシア燃料・エネルギー省を母体として設立された持ち株会社である。当初の計画では、全国の74の地域電力会社の株50%以上、地域間送電線すべて、51の大型発電所、研究所等がUESに移管されることになっていたが、各地域の抵抗もあり、一部はUESの傘下に入らなかった。

たとえば、地域電力会社のうち、イルクーツクエネルギーとタトエネルギーは、UESの傘下に入らなかった。また、UESの持ち株シェアが過半数に達していない地域電力会社も全部で19社存在する。その19社のなかには、モスエネルギー（UESのシェア49%）、バシキルエネルギー（同17%）、クズバスエネルギー（同49%）、クラスノヤルスクエネルギー（同33%）、ノヴォシビルスクエネルギー（同25%）、ヤクーツクエネルギー（同34%）等大手の地域電力会社も含まれている。このような状況から判断して、UESの傘下の地域電力会社に対する支配力は必ずしも磐石なものではないように思われる。

また、当初は、UESが全国各地の51の大型発電所（出力1,000MW以上の火力発電所および300MW以上の水力発電所）をすべて支配下に置く予定になっていたが、各地域電力会社の激しい抵抗にあい、結局、34の発電所（35という説もある）しかUESの傘下に入らなかった。UESは、これら直轄する発電所を通じ実際に発電を行っているようなので、厳密な意味では、持ち株会社ではないという言い方も可能なような気がする。

2. 組織形態（主要傘下企業）

UES傘下の企業を列挙すると次のとおりとなる。